

## 『国際理解教育』Vol.31 論文募集のお知らせ

本誌掲載の「編集規程」及び「投稿規程」に即し、『国際理解教育』31号に掲載する論文を募集しています。事前投稿申し込みは行っておりません。投稿規程を確認の上、9月30日の投稿期限までに編集委員会事務局（投稿規程参照）へご投稿ください。

### 『31号特集「ダイバーシティと国際理解教育」の趣旨』

現代社会を理解するキーワードの一つとして注目されているものにダイバーシティがある。ダイバーシティという用語は、人種、民族、文化、宗教、ジェンダー、セクシュアリティ、年齢、国籍、障がいなど、人を分ける軸によって形成される社会集団の多様性をさすものとして使用されている。ダイバーシティは、人権の尊重や多文化共生という視点から、マジョリティとマイノリティをめぐる社会的な排除・包摂の問題として、あるいは、イノベーションや価値の創造を生み出す経営や教育の課題として論じられることも多い。ダイバーシティを認め、尊重していくことを通して、違いに関わらず誰もが自分らしく生きられ、力を十分に発揮していくことのできる世界・社会の共創がめざされているのである。

一方で、国際理解教育は、国際化・グローバル化の進む現代社会を生き抜き、平和な世界を築いていく資質・能力を育てる教育をいう。国際理解教育は当初、国際理解や国際協力など、国家間の文化理解や国際的な問題解決など国の枠を前提として展開してきた。それが近年、技術革新に伴うグローバルな

相互交流と相互依存が著しく進展するなかで、テーマや課題は多様化し、国の枠を超えた地球規模の諸課題や国内外におけるダイバーシティの問題が注目を集めるようになってきている。一方で、ダイバーシティと国際理解教育の意味づけや位置づけ、個別の課題などについては必ずしも十分に検討されているとはいえない。

そこで、本特集「ダイバーシティと国際理解教育」では、今日的な課題であるダイバーシティに焦点をあて、さまざまな角度から理論や実践を検討することで、国際理解教育に新たな視点を吹き込むことを目的としたい。論文の執筆にあたっては、外国人、ジェンダー、セクシュアリティ、障がい、先住民などといった個別の社会集団に焦点をあてることもできるし、多文化共生、偏見や差別、マイクロアグレッション、居場所、人材戦略など、多様性をめぐる諸テーマについて考察することもできるだろう。ダイバーシティの視点に立って、国際理解教育研究の進展を図ることのできるような意欲的な論稿を期待したい。

## 国際理解教育 Vol.30

発行日 2024年6月20日 初版第1刷発行

編集 日本国際理解教育学会紀要編集委員会  
発行 日本国際理解教育学会  
JAPAN ASSOCIATION FOR INTERNATIONAL  
EDUCATION  
〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1  
名古屋市立大学大学院 人間文化研究科  
曾我幸代研究室気付  
日本国際理解教育学会事務局

発売 株式会社 明石書店  
〒101-0021 東京都千代田区外神田6-9-5  
TEL 03-5818-1171  
FAX 03-5818-1174  
振替 00100-7-24505  
<https://www.akashi.co.jp/>  
装丁 明石書店デザイン室  
印刷／製本 モリモト印刷株式会社  
ISBN978-4-7503-5796-6

 (出版者著作権管理機構 委託出版物)

本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。